

平成16年度当初予算案

「福井元気宣言」

予算編成過程への県民参加について

福 井 県

予算編成への県民参加の結果について

募集期間 平成16年1月24日(土)～2月2日(月)

元気宣言の 項 目	ご意見を 求めた 事業数	寄せられたご意見	
		件 数	主 な 事 業 項 目(いただいた意見数)
元気な産業	22	66	開業特別支援資金(4) 県立大学ビジネススクール(短期課程)開設事業(10) 米政策改革円滑推進事業(8) 新規就農サポート事業(20) 鳥獣害のない里づくり推進事業(7) ふくいの森ビジネス活性化事業(4) 他
元気な社会	9	19	高校生学力向上推進支援事業(3) 私立高等学校魅力アップ推進事業(13) 他
元気な県土	2	6	エネルギー研究開発拠点化計画策定事業(5) 他
元気な県政	9	7	地域ブランド創造活動推進事業(2) ふくいブランド県民大使推進事業(2) 臨時交番相談員配置事業(2) 他
小 計	42	98	
そ の 他	(対象事業に 該当しない)	50	中高年の再就職支援等について(1) 他
合 計		148	

ここで発表したご意見とそれに対するコメントは、今回の当初予算編成で反映したものを紹介しています。

また、今回掲げた事業には直接関係しませんが、今後の取組み等に密接に関わるご意見、ご提案等も幾つか紹介しています。

同趣旨のご意見等を多数いただいたものにつきましては、事業ごとに一つの要旨に集約させていただきました。

皆さまからいただいたご意見はすべて関係部局に伝達し、今回の予算編成では対応できなくとも、今後の事業計画等において考慮するよう指示しました。

## 県民参加の対象事業

意見募集の対象事業のうち、当初予算案に反映したものを紹介します。

項 目	ものづくり・新産業創出等
事業名(担当部局)	福井県産力戦略本部創設事業(産業労働部)
予算計上額	2,000千円
ご意見(要旨)	産学官の代表者、企業トップ、技術者、消費者等、それぞれの立場の意見を取り入れ、偏らないものづくり研究開発のアイデアを生み出す取組みをすべきではないか。
知事からのコメント	<p>この事業は、本県に集積している特色ある高度なものづくり技術の潜在力を最大限に引き出すために、産学官の力を結集することを目的としたものです。</p> <p>本県の産業活性化のためには、産学官の力を結集することはもとより、消費者のニーズも十分に取り入れていくことが必要です。</p> <p>この本部は、県内の業界・企業、大学、産業支援機関のトップや中堅・若手の経営者・研究者等幅広い分野の方々に構成する予定ですが、具体的な検討に当たっては、消費者ニーズを知る方等からもオブザーバー等として意見を得ながら、本県ものづくり産業の活性化を推進していくよう指示しました。</p>

項 目	5,000の新規創業を達成
事業名(担当部局)	開業特別支援資金(産業労働部)
予算計上額	293,155千円
ご意見(要旨)	貸付限度額が8千万円となっているが、ちょっとした工場や設備であっても、技術の優れた商品、製品を要求される時代には、億単位の経費がかかると思われ、「福井県経済社会活性化会議」の提言にあるように、限度額は1億円に上げてほしい。
知事からのコメント	<p>開業に要した費用についての国民生活金融公庫総合研究所の調査によると、8千万円以上の費用を必要とする企業も存在しています。</p> <p>私自身もそうした企業への配慮が必要と考えていることから、「自己資金を限度」という融資条件を廃止し、保証料は県が全額補給することに加え、貸付限度枠を8千万円から1億円とすることにしました。</p> <p>さらに、(財)福井県産業支援センターによる経営面からのサポートを組み合わせることにより、新規創業者の前向きな取組みを強力に支援していくよう指示しました。</p>

項 目	ビジネススクールを開設
事業名(担当部局)	県立大学ビジネススクール(短期課程)開設事業(総務部)
予算計上額	2,500千円
ご意見(要旨)	福井市に在住し、働いている人が多いことを考えれば、開催場所は必ずしも県立大学である必要はなく、多くの人に参加しやすいように福井市の市街地で開催すべきと考える。
知事からのコメント	この事業については、県立大学の事業であることから、開講場所も同大学福井キャンパスを中心に予定していました。 受講者のニーズを踏まえて、特に社会人の方が受講しやすい場所を考えるべきことは、ご意見のとおりです。 実施に当たっては、福井市の市街地でも開催するよう指示しました。

項 目	認定農業者数を1.5倍に
事業名(担当部局)	新規就農サポート事業(農林水産部)
予算計上額	16,620千円
ご意見(要旨)	経営を開始する際に必要な小農具等の購入に対する補助については、経営開始時1年間のみが補助の対象となっているが、必要な農具や機械などについては耕作して初めて分かることも多く、就農して間もない農業者にとってはもう少し検討する時間が必要であるので、補助期間を延ばしてほしい。
知事からのコメント	この事業は、担い手不足が深刻な農業の次代の地域を担う新規就農者の確保育成を図るため、就農環境の整備や経営安定のための支援策を講じるものです。 今回、幾人もの方から同趣旨のご意見をいただき、現場の視点からの配慮が必要との認識に立ち、小農具等整備の助成の支給期間については、新規就農後3年間利用できるよう指示しました。

項 目	鳥獣被害対策の強化
事業名(担当部局)	鳥獣害のない里づくり推進事業(農林水産部)
予算計上額	50,628千円 65,900千円
ご意見(要旨)	イノシシの被害が広がっているが、なかなか減少していないのが現状である。電気柵は防除に効果絶大であるが、1集落、1地区という考え方では、他の集落の被害が大きくなると思われるので、できるだけ広域的に設置を進めてほしい。
知事からのコメント	この事業は、電気柵や捕獲檻の整備拡充を図りながら、効果的な駆除を行うとともに、地域ぐるみでの防除活動を推進するなど、行政と住民が連携し、ハードとソフト両面からの防除対策を総合的かつ広域的に推進しようというものです。 電気柵による防除の効果が一番大きいことや、被害が急速に拡大していること、幾人もの方から要望が寄せられていることを考慮し、電気柵の整備補助を15年度整備見込みの倍の約120集落分とし、鳥獣被害防止のためのハード整備を加速させることとしました。

項 目	「流通者の顔が見える」流通システムを確立
事業名(担当部局)	がんばる海業支援事業(農林水産部)
予算計上額	5,530千円 7,030千円
ご意見(要旨)	漁業者や漁協などは、意欲的に企業化に取り組んでいるが、自己資金が乏しい中での初期投資に加え、企業化に向けた運営体制が確立しておらず、経営も厳しい状況にある。 こうした実状を踏まえ、できれば「がんばる海業」の補助率についてはアップをしてほしい。
知事からのコメント	この事業は、「儲かる漁業」を実現するために、漁業に水産加工や流通、観光などの業種をとり込んだ、いわゆる「海業」に自らの創意工夫で取り組むグループを支援しようというものです。 初期段階での経営は厳しい状況にあるというご意見や、他分野での同様な支援制度の多くが2分の1となっていることを考慮した上で、補助率を3分の1から2分の1へと引き上げ、企業化に向けた取組みをより強力に支援することとしました。

項 目	高校生の学力全国10位以内の実現
事業名(担当部局)	高校生学力向上推進支援事業(教 育 庁)
予算計上額	15,000千円
ご意見(要旨)	<p>高校生の学力向上は必要であり、この事業を通じて真の学力がつくようにしてほしい。決して大学に合格するための受験技術の習得だけにならないようにしてほしい。</p>
知事からのコメント	<p>本県高校生の大学入試センター試験5教科総合平均点は、平成10年度以降、全国平均点を下回っている状況にあり、生徒の学力向上は重要な課題となっています。</p> <p>この事業の実施に当たっては、学ぶ意欲を高め、基礎学力を培うことを第一とします。</p> <p>具体的には、学習時間の確保や教員の資質向上の取組みはもとより、有識者や卒業生による講義、大学のオープンキャンパスへの参加、家庭学習の点検など様々な取組みを通じて生徒一人ひとりの個性・適性が活きるように実施し、受験技術の習得に偏ることのないようにします。</p>

項 目	きめこまかな教育体制の充実
事業名(担当部局)	私立高等学校魅力アップ推進事業(総 務 部)
予算計上額	<del>250,000千円</del> 300,000千円
ご意見(要旨)	<p>私立高校と県立高校の教育費の格差は、生徒の保護者にとって大きな負担であり、保護者の負担軽減とともに、子供たちが安心して勉学に励むことができるよう、補助金のさらなる増額を望む。</p>
知事からのコメント	<p>私立高等学校PTA連絡協議会や私立学校連合会をはじめ、県議会からも、私立高校教育の更なる充実と公私立間の教育費等の格差がこれ以上広がらないようにと、県の支援拡充の要望を受けておりました。</p> <p>私自身も、かねてより、次代を担う「人づくり」が重要であると考えており、私立高校の教育環境についても十分に応援していくことが必要であると思っておりました。</p> <p>厳しい財政状況にはありますが、私立高校が、自主性・独自性を生かし、より多様で特色ある教育を展開できるよう、重点配分することとし、補助総額2億5千万円を3億円に引き上げることとしました。</p>

項 目	交通ネットワークとして不可欠な地域の道路網を整備
事業名(担当部局)	有料道路活用事業(河海有料道路を活用した社会実験)(土木部)
予算計上額	11,706千円
ご意見(要旨)	<p>観光振興の観点から無料化を望む声もあるとのことだが、そのためには県が何億円もの負担をすることになり、県民がそれを負うことになることも考えてほしい。</p> <p>その意味でも、こうした社会実験をしてしっかり検証を行うことに賛成だが、安易に結論を出すことなく慎重に取り組んでもらいたい。</p>
知事からのコメント	<p>本県の観光振興は重要なことですが、費用負担の問題もまた避けて通れない課題です。</p> <p>社会実験にあたっては、学識経験者、県、地元町村などで構成する協議会において、実験方法や実施時期の検討、実験結果の検証などを行う予定ですが、この有料道路の将来のあり方も含めて、検討していくよう指示しました。</p>

項 目	夢あるふるさとづくり
事業名(担当部局)	ふくいブランド県民大使推進事業(総務部)
予算計上額	5,000千円
ご意見(要旨)	<p>「ふくいブランド県民大使」は、700人にとどめず、17年度以降も増やしていくべきではないか。</p> <p>また、不熱心な人にはやめてもらうなどの入れ替えも必要と考える。</p>
知事からのコメント	<p>福井が持つ「良きもの、優れたもの」を全国での競争の中で強くアピールしていくためには、県民一人ひとりがアマチュアのセールスマンとなり、本県のイメージアップ活動を展開していただくことが必要と考えています。</p> <p>この事業は、多くの県民の方々の意欲的な参加があって初めて効果をあげるものといえますので、平成16年度の登録者の実績に応じて、平成17年度以降の「ふくいブランド県民大使」の増員を考えていくことにしました。</p> <p>さらに、年度末に活動実績や次年度続ける意思の有無を確認し、更新を行っていくよう指示しました。</p>

その他

意見募集の対象事業には直接関係しませんが、今後の取組み等に密接に関わるご意見、ご提案等をご紹介します。

項 目	経済対策の緊急発動
担当部局	産業労働部
ご意見（要旨）	中高年の職業能力の開発や職場体験講習支援など、再就職の支援を充実させてほしい。
知事からのコメント	<p>福井・敦賀産業技術専門学院等において、在職者の職業能力の開発や、離転職者の再就職に向けた多様な職業訓練を実施するとともに、求人情報の提供等を行う「雇用促進相談コーナー」の設置や「再就職支援セミナー・早期就職面接会」の開催を計画しています。</p> <p>また、民間教育機関の座学訓練と企業での実習型訓練を組み合わせた「デュアルシステム」の導入を計画しています。</p>

項 目	認定農業者数を1.5倍に
担当部局	農林水産部
ご意見（要旨）	地域農業の担い手となる農業法人や認定農業者等への助成の枠が減っているようだが、そのような現状に疑問を感じる。
知事からのコメント	<p>今回の予算編成においては、「明日の地域農業を支える担い手条件整備事業」を計上しました。</p> <p>その中で、認定農業者（規模拡大等の農業改善計画について市町村から認定を受けた農家）、認定生産組織（組織の高度化と経営改善に意欲的なものとして県が認定した集落を基本とした生産組織）への助成枠を、それぞれ1.5倍に拡大し、基幹的な担い手の育成を一層強力に進めることとしました。</p>



項 目	未来を託す人づくり
担当部局	総務部
ご意見(要旨)	誰でもやさしくパソコンを使える体制をつくり、パソコン講習を充実させてほしい。
知事からのコメント	<p>パソコン講習等の受講希望やスキルアップを要望する声は多く寄せられています。</p> <p>このため、今回の予算編成では「ITスキルアップ支援事業」を計上しました。</p> <p>この事業により、市町村と連携して、公民館でホームページ作成講座などのパソコン講習会を開催するとともに、パソコン操作やインターネットの利用方法など、ITに関する疑問についての相談会を実施していきたいと考えています。</p>

項 目	きめこまかな教育体制の拡充
担当部局	教育庁
ご意見(要旨)	<p>高校生の学力アップのためには、能力到達別に支援をする必要があり、ボトムを上げることに重点を置いて予算を配分すべきではないか。</p>
知事からのコメント	<p>既に、大手予備校へ教員を派遣したり、大手予備校の講師による研修会を開催するなど、教員の資質向上を図るほか、授業時間の確保を図るため、夏休みなどの長期休業期間や過当たりの授業時間数の弾力的運用を行っています。</p> <p>「予算編成過程への県民参加」の対象事業として掲げた「高校生学力向上推進支援事業」のほか、平成16年度から教科指導および進路指導の中核となる指導的教員を配置する予定です。</p> <p>さらに、生徒一人ひとりの弱点を見つけ、学習状況を把握して指導を行うことにより、基礎学力が身につけていない生徒の学力の定着を図る「高校生基礎学力診断テスト実施事業」を予定しています。</p>

項 目	生き生きやさしい福井づくり
担 当 部 局	福祉環境部
ご意見（要旨）	<p>動物愛護と適正飼養に対する理解・認識は不十分であり、飼養放棄されている動物はなお多い。</p> <p>官民の協力体制である関係者協議会、動物愛護推進員の委嘱など、動物を救う仕組みを連携して作ってほしい。</p>
知事からのコメント	<p>本県では平成13年度から健康福祉センターで保護・引取りをした犬について、ご希望に応じて県民の方にお譲りしています。</p> <p>平成14年度からは県が中心となって、動物愛護ふれあいフェスティバルを開催し、動物に対する正しい理解と適正飼養を広く周知する事業に取り組んできました。</p> <p>このフェスティバルでは、（社）福井県獣医師会や動物愛護活動団体の参加・協力を得て実施していますが、ご意見を踏まえ、平成16年度においても参加・協力団体の一層の拡大を図り、動物愛護や適正飼養について周知に努めていきます。</p>

項 目	活かそう熟年パワー
担 当 部 局	福祉環境部
ご意見（要旨）	<p>介護を要しない高齢者に対する配慮が欠けているように思えるので、ボランティア活動等に対し感謝状を出すなど、高齢者の生きがい対策をしてはどうか。</p>
知事からのコメント	<p>県民長寿祭において老人福祉功績者に対し知事から感謝状を贈呈したり、県民の社会貢献活動を奨励するための活動者、団体を表彰するなど、様々な機会にボランティア活動等を行っている高齢者に対して感謝状などを贈呈しています。</p> <p>今後とも、こうした機会を積極的に活用し、高齢者の生きがいづくりを推進していきたいと考えています。</p>

項 目	大胆な選択と集中により予算を配分 未来を託す人づくり
担当部局	総務部 福祉環境部 教育庁
ご意見(要旨)	県は子育て支援や教育にあまり力を入れていないように思う。特色ある県にするため、思いきってひとつのことに予算を集中させることも必要ではないかと思う。
知事からのコメント	<p>福井を元気にするためには、私自身が強いリーダーシップを発揮し、事業の成果を重視して政策を実施していくことが必要だと考えています。</p> <p>今回の予算編成においても、大胆な選択と集中により予算を配分するとの「福井元気宣言」の方針に基づき、女性力パワーアップや教育の充実などに重点を置き、「すみずみ子育てサポート事業」、「高校生学力向上推進支援事業」などを計上しました。</p> <p>今後とも、大胆な事業展開により、県民本位の行政を実現していきたいと考えています。</p>

項 目	夢あるふるさとづくり
担当部局	総務部
ご意見(要旨)	<p>「地域ブランド」を確立して、広く県内外に「地域の宝」を知ってもらうことが大切。</p> <p>みんなが興味を持てる、何か新しい資源を作り出さなくてはいけない。ぱっとしない資源しかなくとも、頑張り次第でいいものが生み出されるのではないかと思う。</p>
知事からのコメント	<p>地域経済や社会の活性化を図るためには、県民の皆さんが自信と誇りを持ちながら、自らの主体性・独創性を発揮し、自然や歴史、食文化等の地域資源の付加価値とストーリー性を高めていくことが重要です。</p> <p>今回の予算編成では、「地域ブランド創造活動推進事業」を計上していますが、その中で、こうした「地域ブランド」を創造する地域の取組みに対して積極的な支援を行っていく予定です。</p> <p>今後とも、県民の皆さんと手を携えて地域資源の価値を高め、全国に発信していきたいと考えています。</p>

項 目	夢あるふるさとづくり
担当部局	総務部
ご意見(要旨)	異櫓(たつみやぐら)の復元について、県も本腰を入れて取り組んではいかがでしょうか。
知事からのコメント	<p>昨年11月に、関係課職員による「福井城址等を活かしたまちづくり庁内検討会」を発足させたところです。</p> <p>今回の予算編成では、「福井城址等を活かしたまちづくり検討事業」を計上し、福井城址の敷地の形状の基礎調査や、福井城や中心市街地に残る歴史的遺産に関する文献・資料の収集等を実施していきたいと考えています。</p> <p>この調査結果をもとに、今後、庁内検討会において、福井城址の利活用策や福井駅周辺の中心市街地における歴史・文化を活かしたまちづくりという観点から、幅広く課題整理を進め、将来の県民の間での議論につなげていく予定です。</p>

項 目	ユニバーサル・デザインのまちづくり
担当部局	福祉環境部 土木部
ご意見(要旨)	民間の建物、道路、公園、川なども含めて県内一円でユニバーサル・デザインのまちづくりを推進すべきではないか。
知事からのコメント	<p>県営の全ての都市公園(11箇所)については、障害者や高齢者を含むすべての人が自由に利用するための触知式案内版の設置、誘導ブロック設置、段差解消等の基本的な措置を行いました。</p> <p>現在、福井県福祉のまちづくり条例に基づき、障害者、高齢者を含むすべての人が、安全で快適に利用することができるように、公益的施設の整備を推進しているところです。</p> <p>今回の予算編成では、「横断歩道ユニバーサル・デザイン化事業」を計上していますが、今後とも、県民が利用しやすい施設整備を進め、ユニバーサル・デザインのまちづくりを推進していきます。</p>